



CHAPTER 9

Cisco Unified Videoconferencing 5100 MCU の高度なメンテナンスの設定


- 「Cisco Unified Videoconferencing 5100 MCU 設定のバックアップ」 (P.9-1)
- 「Cisco Unified Videoconferencing 5100 MCU 設定の復元」 (P.9-2)
- 「工場出荷時設定の復元」 (P.9-2)
- 「Cisco Unified Videoconferencing 5100 MCU 用の拡張コマンドの使用方法」 (P.9-3)
- 「Cisco Unified Videoconferencing 5100 MCU ソフトウェアの管理方法」 (P.9-7)
- 「Cisco Unified Videoconferencing 5100 MCU の再起動」 (P.9-8)
- 「カスタマー サポートへの問い合わせ」 (P.9-8)

Cisco Unified Videoconferencing 5100 MCU 設定のバックアップ

MCU 設定をファイルに保存し、そのファイルをネットワーク上のストレージ デバイスにエクスポートできます。保存した設定ファイルを使用して、現在の MCU に設定を復元したり、同じような MCU を設定したりできます。

エクスポートされるファイルは、.val ファイルと .xml ファイルを含む .zip ファイルです。

手順


- ステップ 1**  アイコンをクリックします。
- ステップ 2** [Backup configuration] を選択します。
- ステップ 3** 選択した場所に設定ファイルを保存します。
ファイル名には .zip 拡張子が自動的に付加されます。

Cisco Unified Videoconferencing 5100 MCU 設定の復元

保存した MCU 設定ファイルの設定をネットワーク上のストレージ デバイスからインポートできます。保存した設定ファイルを使用して、現在の MCU に設定を復元したり、別の MCU を設定したりできます。


インポートされるファイルは、.val ファイルと .xml ファイルを含む .zip ファイルです。

手順

-
- ステップ 1  アイコンをクリックします。
 - ステップ 2 [Restore configuration] を選択します。
 - ステップ 3 [Browse] を選択します。
 - ステップ 4 インポートする設定ファイルを参照して選択します。
設定ファイルには .ini 拡張子が付いている必要があります。
 - ステップ 5 [Restore] を選択します。
 - ステップ 6 [Continue] を選択して新しい設定をアップロードします。
この復元手順を実行すると、現在の設定はすべて完全に失われます。
システムが数分間シャットダウンした後、自動的に再起動します。
アクティブな会議はすべて切断されます。
 - ステップ 7 [OK] をクリックして復元手順を完了します。
-

工場出荷時設定の復元

手順

-
- ステップ 1  アイコンをクリックします。
 - ステップ 2 [Restore factory defaults] を選択します。
 - ステップ 3 新しい設定をアップロードするには、[Continue] を選択します。復元手順を中止するには、[Cancel] を選択します。
この復元手順を実行すると、現在の設定はすべて完全に失われます。
システムが数分間シャットダウンした後、自動的に再起動します。
アクティブな会議はすべて切断されます。
 - ステップ 4 [OK] をクリックして復元手順を完了します。
-

Cisco Unified Videoconferencing 5100 MCU 用の拡張コマンドの使用法

MCU の高度な制御に使用するテキストベースのコマンドを送信できます。




(注) 拡張コマンドを使用するアクションは、上級ユーザまたは Cisco カスタマー サポートの助言を受けたユーザだけが実行することを推奨します。

- 「使用可能な拡張コマンドの表示」 (P.9-3)
- 「拡張コマンドの変更」 (P.9-6)
- 「拡張コマンドの送信」 (P.9-6)

使用可能な拡張コマンドの表示

表 9-1 に、使用可能なすべての拡張コマンドを示します。

手順

ステップ 1  アイコンをクリックします。

ステップ 2 [Advanced parameters] を選択します。

表 9-1 使用可能な拡張コマンドのリスト

コマンド	文字列	説明	パラメータ	デフォルト
H323 RAS ポート番号	h323rasport	H.323 RAS ポート番号を設定します。		1719
H323 SIG ポート番号	h323sigport	H.323 シグナリング ポート番号を設定します。		1720
登録モード	h323gkregmode			
SIP サポート ビデオ高速アップデート	sipsupportvfu		disable enable	イネーブル
新規発言者の最小間隔	minnewspeakerinterval	参加者がアクティブな発言者になるまでに最低限待機する必要がある時間の長さ (ミリ秒単位)。		3000
DTMF 会議制御の有効化	dtmfconferencecontrolenable		disable enable	イネーブル

表 9-1 使用可能な拡張コマンドのリスト (続き)

コマンド	文字列	説明	パラメータ	デフォルト
会議 ID の登録	mcuregisterconfname	会議 ID を (ゲートキーパーまたは SIP サーバに) 登録します。	disable enable	イネーブル
参加者の会議参加ポリシー	mcujoinpolicy		All Invite Only	All
外部会議ポリシーの認可	externalconferenceauthorization		None Notify Authorize	None
装置の場所	boardlocation	装置の物理的な場所を指定します。	文字列	None
SNMP リード パスワード	snmpreadpassword	SNMP リード コミュニティ。	文字列	RVGET2
SNMP ライト パスワード	snmpwritepassword	SNMP ライト コミュニティ。	文字列	RVSET2
H.323 ステータス表示	h323statusshow	H.323 スタックに関する情報を表示します。		
H.323 スタック表示	h323stackshow	H.323 スタック表示を有効にします。		H.323 スタック表示はデフォルトでは無効です。
H.323 スタック非表示	h323stackhide	H.323 スタック表示を無効にします。		
SIP ステータス表示	sipstatusshow	SIP スタックに関する情報を表示します。		
SIP スタック表示	sipstackshow	SIP スタック表示を有効にします。		SIP スタック表示はデフォルトでは無効です。
SIP スタック非表示	sipstackhide	SIP スタック表示を無効にします。		
H.239 ライブ モード	h239livemode		disable enable	イネーブル
H.239 デュアル ビデオ	h239duovideo		disable enable	ディセーブル

表 9-1 使用可能な拡張コマンドのリスト (続き)


コマンド	文字列	説明	パラメータ	デフォルト
装置の通知レベル	notifylevel	MCU のログ通知レベルフィルタを設定します。	<p>Fatal : MCU はサービスの提供を継続できません (回復不能なエラー)。</p> <p>Error : ユーザ機能の問題 (たとえば、コールの接続障害や使用可能なリソースの不足など)。</p> <p>Warning : ユーザ機能に問題がありますが、MCU はサービスの提供を継続できます。</p> <p>Info : カスタマー サポートで使用するステータスの表示。</p> <p>Advanced : Info と同様ですが、より詳細な情報が表示されます。</p> <p>Debug 1 ~ Debug 4: デバッグレベル。</p>	Debug 3
待合室通知タイムアウト	setwaitingroomindtimeout	待合室アナウンスの間隔 (ミリ秒単位) を指定します。		
エンドポイント名のカスケード表示	cascadedisplayendpointname	有効にすると、スレーブ会議のサブフレームに対するテキストオーバーレイがエンドポイント名になります。	<p>disable</p> <p>enable</p>	イネーブル
通知後の DTMF の処理	handledtmfafternotification	外部サーバおよびその他の指定された宛先に DTMF 信号を送信するように MCU を設定します。	<p>no : MCU は外部サーバだけに DTMF 信号を送信します。</p> <p>yes : MCU は外部サーバと「DTMF 転送先」拡張コマンドで設定された宛先に DTMF 信号を送信します。</p>	
DTMF 転送先	dtmfforwardto	DTMF 転送の転送先を指定します。	<p>to all : 会議内のすべてのエンドポイント。</p> <p>to gateways : ゲートウェイだけ。</p> <p>to none : DTMF を無効にします。</p>	None

表 9-1 使用可能な拡張コマンドのリスト (続き)

コマンド	文字列	説明	パラメータ	デフォルト
認証前の DTMF 検出	dtmfalwaysopen		disable enable	イネーブル
CS ログ表示	cslog	カスタマー サポートに関するログを表示します。	start stop status	


拡張コマンドの変更

手順

- ステップ 1  アイコンをクリックします。
- ステップ 2 [Advanced parameters] を選択します。
- ステップ 3 変更する拡張コマンドの [Review] カラムの矢印を選択します。
- ステップ 4 [Value] フィールドで、パラメータの値を変更します。
- ステップ 5 [Apply] をクリックします。

拡張コマンドの送信

手順


- ステップ 1  アイコンをクリックします。
- ステップ 2 [Advanced parameters] を選択します。
- ステップ 3 [CLI] セクションを見つけ、[More] を選択します。
- ステップ 4 [Command] フィールドにコマンドを入力します。
- ステップ 5 [Parameter] フィールドにコマンドのパラメータ値を入力します。
- ステップ 6 [Value] フィールドにパラメータの値を入力します (該当する場合)。
- ステップ 7 [Execute] をクリックします。

Cisco Unified Videoconferencing 5100 MCU ソフトウェアの管理方法

- 「Cisco Unified Videoconferencing 5100 MCU ソフトウェアのアップグレード」(P.9-7)
- 「以前のソフトウェア バージョンの復元」(P.9-7)


Cisco Unified Videoconferencing 5100 MCU ソフトウェアのアップグレード

手順

-
- ステップ 1**  アイコンをクリックします。
- ステップ 2** [Update software] を選択します。
- ステップ 3** [Browse] を選択して、必要な MCU アップグレード パッケージを参照します。
- ステップ 4** [Update] をクリックします。
システムが数分間シャットダウンした後、自動的に再起動します。
アクティブな会議はすべて切断されます。
- ステップ 5** [Continue] をクリックします。
- ステップ 6** アップデート処理が完了すると、ただちに MCU がリブートし、新しいバージョンのソフトウェアがリロードされます。
-


以前のソフトウェア バージョンの復元

手順

-
- ステップ 1**  アイコンをクリックします。
- ステップ 2** [Update software] を選択します。
- ステップ 3** [Roll back] をクリックします。
システムが数分間シャットダウンした後、自動的に再起動します。
アクティブな会議はすべて切断されます。
- ステップ 4** [Continue] をクリックします。
- ステップ 5** アップデート処理が完了すると、ただちに MCU がリブートし、新しいバージョンのソフトウェアがリロードされます。
-


Cisco Unified Videoconferencing 5100 MCU の再起動

手順

-
- ステップ 1**  アイコンをクリックします。
- ステップ 2** [Restart unit] を選択します。
システムが数分間シャットダウンした後、自動的に再起動します。
会議はすべて切断されます。
- ステップ 3** [Continue] をクリックします。
-

カスタマー サポートへの問い合わせ

手順

-
- ステップ 1**  アイコンをクリックします。
- ステップ 2** [Contact Customer Support] を選択します。
[Contacting Customer Support] ウィンドウにカスタマー サポートの連絡先情報が表示されます。
- ステップ 3** (オプション) [Create] を選択して、バンドルするログと設定ファイルのスナップショット ファイルを作成します。デバッグのためにこのファイルを Cisco カスタマー サポートに送信できます。
このスナップショット ファイルには MCU の過去 24 時間分のアクティビティが含まれており、ファイル サイズはおおよそ 10 MB になります。このスナップショット ファイルには MCU システムに関する次の情報が含まれています。
- インベントリ ファイル
 - 設定ファイル
 - 過去 24 時間分のログ ファイル
 - すべての初期化ログ ファイル
 - すべての例外ログ ファイル
 - イベントおよびアラームのログ
-